

環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
成果報告会 発表資料

活動団体名：公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)

活動地域：兵庫県北摂地域

活動におけるテーマ・キャッチコピー

里山保全をベースにした

食料と**エネルギー**の**自給自足**、

山間・農村部と都市部間の**人と資源の還流**

弱体化 ⇨ 買い物不便、バス利便性小、高齢者運転困難
 II 地域の**人材不足** ⇨ 地域資源への理解不足、適切な**住環境**・中小企業減等による**労働**の機会の不足
 III **食、エネルギーの外部依存** ⇨ (食)担い手不足、営農意欲低下と農地の荒廃 → 再生エネルギーとの共
 ⇒ I ~ IIIの各課題が相互に関連し、生産年齢人口減と相まって、地域としての課題が生じている

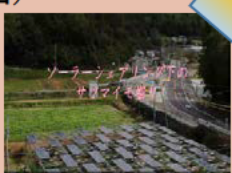
課題解決のための地域資源と実践活動

地産地消の地域資源としてのエネルギー利用 (課題II、IIIに対応)

資源 緑のリサイクルセンター、可燃ごみ、乳牛糞、小河川での水力発電、宝塚すみれ発電、(一社)西谷ソーラーシェアリング協会

予定事業

- ・ソーラーシェアリング (遊休農地活用と地産地消エネルギーの創出)
- ・乳牛糞バイオガス発電
- ・ごみ焼却発電 (国崎クリーンセンター)



期待される成果
 住民出資による発電所による売電収入を配当金や地域通貨、商品券、地域内サービス等で還元 → **地域内経済循環**

里山資源の利活用、保全 (課題IIに対応)

資源 黒川地区の里山、北摂里山構想、北摂里山文化保存会、県版地域おこし協力隊

予定事業 木質バイオマス発電 (一庫温泉)、里山教育、観光、養蜂

期待される成果

川西市黒川地区の台場クヌギ林を含むナショナルトラスト活動による観光・教育体験
 里山資源、菊炭文化等の伝統を中心とした地域の魅力発信



災害時にも強い自立分散型のエネルギーシステム

電力供給、再エネを活用した地域交通システム

地域事情に密着した交通移動システム

ビジョン

～地域の小さな定住自立圏へ～

- ・地域内経済循環の促進 (エネルギー、食の地産地消)
- ・交通弱者に対する地域交通発達による利便性向上
- ・自然環境 (里山) 保全、共生
- ・適正な年齢別人口構成の維持
- ・住環境を整え、働く場を創出
- ・地域の魅力を外部へ情報発信 ⇒人を呼び込む、都市圏との関り創出

地域コーディネーターによる各活動の連携、エネルギー事業者との協力
 地域資源、通貨の域内循環
 ビジネス化による持続性確保

地域交通 (課題Iに対応)

資源 能勢電レンタサイクル

予定事業 能勢電沿線のレンタサイクル導入

期待される成果

- ・電動自転車等によるラストワンマイル導入
 - ・オンデマンド型のコミュニティモビリティへ
- ⇒ 地域交通の利便性向上



農村部と都市部を結ぶ人、モーターサービス (介護・福祉等) を結ぶMaaS様の交通システム

食を通じた都市部と農村部の繋がり (課題II、IIIに対応)

資源 道の駅いなわ、コープこうべ、甲子園大学 (農の6次産業化)

予定事業 直売所販売量、市民農園の活用

期待される成果

農業者と消費者を結びつける取組 (市民農園、食育) による新たな農業の形
 農家レストラン、オーガニックツーリズムの発達
 フードマイレージの低減 (輸送コスト、鮮度、商品力)
 農地荒廃防止、新規就農、営農意欲向上等



地域のビジョンを実現するための成果指標

- ・地産地消の再生可能エネルギー（太陽光、バイオマス）によるエネルギー地域循環
- ・貴重な里山資源の保護、有効活用と原風景の次世代継承
- ・都市部と農村部の交流による関係人口の増加、地域居住人口の偏在の解消促進

短期目標

長期目標

環境

ソーラーシェアリング発電量が地域消費電力に占める割合

再生可能エネルギーが地域消費電力に占める割合
(再エネ自給率)

バイオマス熱利用（木質チップ等）

木質資源熱利用量

経済

国崎クリーンセンターの廃棄物発電による売電量

地域の再エネ創出量（資金）増加率

モニター店舗の農産物全体に占める地元農産物の割合

地域全体の農産物全体に占める地元農産物の割合

社会

北摂里山地域循環共生圏HPへのアクセス数

北摂里山地域循環圏の取組の
認知度

北摂里山文化保存会イベントへの参加者数

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	木質バイオマスの有効利用	
	事業の概要	<p>県・市町の森林・里山保全方針（各自治体の関連計画、森林環境贈与税の利用計画、補助制度等）について調査を実施する。その上で、需給ビジネスモデルの構築を行い、森林資源の保全・資源としての有効活用をはかる。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>対象地域の森林賦存量の把握はある程度進んでいるが、その利活用面での検討はほぼ未着手である。特に、需用と供給を創出する必要があり、それらを担うプレイヤー、実施体制スキーム構築が現時点で想定される課題となっている。</p>
2	事業の名称	地域交通システムの構築	
	事業の概要	<p>地域交通システムは、交通弱者の解消、関係人口の拡大及び経済活性化に資する。グリーンスローモビリティの拠点を整備することで、住民の利便性向上、高齢者の二次交通（ラストワンマイル）の手段を提供することが可能である。また、これらの整備により、インバウンド効果を含む観光業への好影響も見込まれる。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>住民や観光客のデマンド調査、事業モデルの収支計算、実施体制の構築</p>
3	事業の名称	地域通貨による地域経済循環圏構築	
	事業の概要	<p>上記の1と2の事業をビジネスとして成立させ、地域経済循環を促進するには、地域通貨の活用が有用な手段の一つと考えられる。事業1の「木質バイオマスの有効利用」では、例えば間伐代金の50%を地域通貨として支払い、木材の対価を域内の小売店等で循環してもらう仕組み等の構築を検討する。また、事業2の「地域交通システムの構築」についてもモビリティの利用に地域通貨を使用できるようにする等の検討をすることによって、地域循環経済の成立を将来的に目指す。</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>知識、ノウハウの不足 ステークホルダー内でこの分野の専門あるいは関わりのあるメンバーの不在</p>

今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 地域課題を関係者間で共有できたこと。特に自治体の枠を超えて地域で考える視点が得られた。
- 各ステークホルダーの役割を文章化することで、関わり方がより明確になった。
- 地域循環共生圏の成果指標を検討する過程で、全体の目標課題を再認識できたこと。

今後の意気込み

(1) 北摂地域には、木質バイオマス賦存量が豊富にあるが、最低限の防災管理面以上のことはあまりなされていない現状にある。そこで、これら森林資源の適切な間伐等によるバイオマスエネルギーとしての活用をはかるとともに、森林・里山保全に繋がるような利活用・保全のスキームを構築していきたい。

(2) 北摂地域は農村部が多くを占めており、高齢化、人口減少が著しく、関係人口も少ない地域となっている。日常生活には交通手段が欠かせないが、採算性等の課題から、これらの整備も進んでいない。そこで、交通弱者の解消、関係人口の増加をはかるためにラストワンマイルを中心とした地域交通システムの構築をはかっていきたい。

地域の活動の上での課題

- 地域のビジョンについて
キャッチフレーズ的な文言にとらわれてしまう傾向にあり、一般的にわかりやすく記載するのが難しい。
- ステークホルダーの巻き込みについて
地域のコーディネータが存在せず、調整に時間を要する。
- 成果指標について
循環共生圏自体の概念を明確にしないと、成果指標の設定は困難であることを認識した。

インタビューズ

ホーム > インタビューズ > インタビューズ

インタビューズ	太陽光発電と農業の両立	バイオマスの有効活用	地域交通システムの構築	食の地産地消	森林・里山の保全
教育	観光	全体調整	地域通貨	西谷地区	中谷地区
東谷地区	misc				



インタビューズ

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 関西研究センター所長 鈴木 幹氏



インタビューズ、太陽光発電と農業の両立、バイオマスの有効活用、森林・里山の保全
兵庫県環境管理局長 菅 範昭氏



インタビューズ、地域交通システムの構築、観光
能勢電鉄株式会社 取締役社長 城南 雅一氏



インタビューズ、太陽光発電と農業の両立、バイオマスの有効活用、食の地産地消、観光
神戸新聞社 論説委員 辻本 一好氏



インタビューズ、太陽光発電と農業の両立、食の地産地消、森林・里山の保全
コープこうべ 岡田卓巳氏 鬼潮 康弘氏 大谷常雄氏

2019.10.19



インタビューズ、森林・里山の保全、教育
兵庫県立大学 名誉教授 服部 保氏

2019.10.14



インタビューズ、地域交通システムの構築、森林・里山の保全、観光
コラジジョ川西 代表 梅尾 大知氏

2019.10.07



インタビューズ、太陽光発電と農業の両立、食の地産地消
甲子園大学栄養学部教授 鎌田洋一氏 山下憲司氏 大橋哲也氏

2019.10.03



インタビューズ、バイオマスの有効活用
国崎クリーンセンター啓発施設・ゆめぼたる 所長 鈴木 榮一氏

2019.09.15



インタビューズ、太陽光発電と農業の両立、バイオマスの有効活用
非営利型株式会社 すみれ発電 代表取締役 井上 保子氏

2019.09.13



インタビューズ、森林・里山の保全
NPO北摂里山文化保存会 理事長 金淵 信一郎氏

2019.09.09